

名鉄西尾蒲郡線利用促進

名鉄西尾蒲郡線の経常損益が約7億5千万円の赤字であるため、名鉄は自主運行が困難ということで廃線が危惧されています。西尾市と蒲郡市で年間に2億5千万円の負担をして存続に努めており、令和7年度までの運行継続は決定しています。廃線になりますと、①学生や車に乗れない人が困ります。②駅周辺の活性化がなくなり町が衰退します。③地価が下落します。など様々な影響がでます。廃線を防ぐには、名鉄電車を利用することです。利用促進として、西尾市は、名鉄電車を利用する行事の開催や駐車場の整備、乗車補助など行っています。また、名鉄西尾蒲郡線応援団によるイベントの協力や啓発活動、鉄研実行委員会によるイベントの開催、高校生による名鉄西尾・蒲郡線体感ウォーク、名鉄による乗車促進PRや観光事業の実施など行っています。

東幡豆区は、毎月第一日曜日に、片道乗車によるウォーキングを行っています。神社仏閣やこどもの国、海岸などのウォーキングです。多くの人に参加していただきたいと思います。詳しくは、ネットで「幡豆はず情報室」の「片道電車のちょこっとウォーキング」をご覧ください。過去の写真や今後の予定が掲載してあります。

乗って残そう / 赤い電車



新型コロナウイルス感染症 ～「感染しない、感染させない」～

学校では学級閉鎖が生じるなど感染が再拡大しています。規制緩和の中、ワクチン接種や感染防止に努めて社会経済活動を活性化してください。

- ・ 場面に応じたマスクの着用
- ・ 手洗い、手指消毒
- ・ 適切な換気の実施
- ・ 密を避ける



みんなで予防！インフルエンザ

2シーズン続いて大流行がなかったインフルエンザが「今シーズンは流行するのでは？」との見方があるようです。

- ・ 身体的距離の確保
- ・ マスクの着用（咳エチケット）
- ・ こまめな手洗い
- ・ 規則正しい生活習慣



議員の年賀状の禁止

年始の挨拶に欠かせない年賀状ですが、政治家が自身の「選挙区内にある者」に出すことは禁止されていますので控えさせていただきます。



西尾市議会議員

渡辺 信行

市政レポート

2023年 新年号 発行人 渡辺信行後援会

〒444-0701 西尾市東幡豆町中川原3番地
TEL 62-3217



今年も皆様にとりまして幸多き年になりますように

後援会を始めご支援いただいている皆様には心より感謝申し上げます。昨年、新型コロナウイルスの感染再拡大やロシアによるウクライナ侵攻、円安などにより経済や市民生活に大きな影響を受けました。また、全国各地で自然災害が発生している中、西尾市においても豪雨により家屋の浸水や土砂災害、道路の冠水等の被害が発生しています。私の願いは、「市民の皆様が安心して安全に暮らせる西尾市」であります。渡辺信行は、明るい社会・まちの活性化のため人を大切にし、人がつながるまちづくりに努めてまいりますので引き続きご支援をお願い申し上げます。

後援会長あいさつ

終息の見えない新型コロナウイルス、終戦の見通しのつかないロシアによるウクライナ侵攻、急速に進んだ円安、これらにより社会経済や市民生活への影響が懸念される昨今であります。社会経済活動を活性化するために様々な対策が取られていますので、元気な日本、元気な西尾市になることを願っています。私は眼科医として日々患者と接していますが、診察をする中で心のケアにも心がけ、来院された方が笑顔で帰っていただくことが喜びであります。「病は気から」、古くから語り伝えられてきた言葉です。意味は、「病気は気持ちしだい、良くもなれば悪くもなる」ということです。お腹が痛かったけど、友達と遊んでいたら忘れた。明日のテストが嫌で学校を休みたいと思っていたら本当に熱が出た。など経験がある人もみえると思います。本当か疑問を感じている人もいますが、病はストレスからくることもありますし、治療においてもプラス思考は大切であります。人にとって最も大切なのは健康です。皆様には、前向きな気持ちで健康に過ごされることを願っています。

渡辺信行後援会 会長 黒部直樹（黒部眼科院長）

一般質問

令和4年は、3月議会、6月議会、9月議会で行っています。概略については「広報にしお」に掲載されますし、詳細については「渡辺信行ホームページ」又は「西尾市議会ホームページ」に掲載してあります。是非ご覧ください。

本来なら対面でご挨拶申し上げるところですが、コロナ感染症を考慮してポスティングにさせていただきます。ご了承ください。

SDGs

SDGsとは、国際社会共通の持続可能な開発目標であり、2015年9月に、国連サミットで採択された国連加盟193か国の2030年までの開発指針です。持続可能で、より良い社会を目指す世界共通の17の目標と具体化した169のターゲットで構成されています。17の目標は、次のとおりです。

- | | | |
|------------------|------------------------|-----------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに | 3. すべての人に健康と福祉を |
| 4. 質の高い教育をみんなに | 5. ジェンダー平等を実現しよう | |
| 6. 安全な水とトイレを世界中に | 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | |
| 8. 働きがいも経済成長も | 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | |
| 10. 人や国の不平等をなくそう | 11. 住み続けられるまちづくりを | |
| 12. つくる責任つかう責任 | 13. 気候変動に具体的な対策を | |
| 14. 海の豊かさを守ろう | 15. 陸の豊かさを守ろう | |
| 16. 平和と公正をすべての人に | 17. パートナリーシップで目標を達成しよう | |



西尾市は、現在、ごみ減量、公共施設のLED化や節電、にしお健康ツーリズムなど様々な取り組みをしています。更に、官民一体で推進する機運を醸成するために、「西尾市SDGs推進計画」を策定します。

目標を達成するには、政府や企業だけでなく、私たち個人の取り組みも重要です。個人でできる日常生活での取り組み例を紹介します。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ・節電・節水を心掛ける | ・マイバックやマイボトルを活用する |
| ・フードロス減らす | ・再利用、リサイクルを積極的に行う |
| ・家事を平等に分担する | ・できるだけ公共交通機関を利用する |
| ・災害に対する備えをしておく | ・持続可能なエネルギーを使う |

円安の影響

円安とは、円の価値が他の通貨と比べて相対的に低い状態を指す言葉です。円相場は、かつて1ドル360円の固定相場制でしたが、1973年から変動相場制に移行しました。これにより円に対する各国通貨の価値は、経済成長率やインフレ率などの経済情勢に応じて、そのつど変動するようになりました。2022年は、1ドル110円台から始まり、月を追うごとに120円台、130円台、140円台、150円台と32年ぶりの円安水準になりました。

円安の影響としては、輸出に関わる企業は利益を得やすくなりますが、その一方で、ガソリンや小麦などの輸入に頼っているものの値段が上がるという側面があります。日本国民は、生活に必要な物資の多くを輸入に頼っています。円安になると、輸入品の値段は当然上がります。輸入原料を使っている製品も製造コストが増加するため、価格が上がります。さらに日本では、石油などのエネルギー資源も輸入に頼っています。輸送コストの上昇も、価格に反映されます。このまま円安が続くと物価は上昇し続けることになり、インフレの状態を招きます。

西尾市の財政も様々な分野で影響を受けており、補正予算を計上する必要があります。個人でできる円安対策の一例として、朝食をパンからご飯に変えるなど、身近なところから国内の食品や製品に目を向けることです。物価対策は、円安対策でもありますので、日銀のアナウンスメントの修正やレバトリ減税などを含めた政府の経済対策を望むところです。



令和4年度防災減災対策

○西尾市総合防災訓練

令和4年11月5日に福地中学校等で行われました。災害はいつ発生するか分かりませんので、日頃から防災対策に取り組んでください。



防災訓練

○津波避難施設整備（津波避難タワー）

一色町千間地区に1基、吉良町吉田地区に1基整備

○災害用トイレの整備と防災資機材庫の設置

避難所になっている西尾小学校、寺津小学校、福地北部小学校に整備

○津波一時待避所のフェンス設置

消防署吉良分署の屋上にフェンスの設置

○備蓄食料の購入

アルファ化米、ライスクッキー、野菜がゆ、粉ミルク、液体ミルク

○自主防災組織への支援

防災訓練の実施に対する補助、防災資機材の整備に対する補助

○防災の啓発と教育

防災に関する講座や講演の実施、小中学校への防災教育の実施

○その他にも防災行政無線の管理など



津波避難タワー

ロシアによるウクライナ侵攻の影響

2022年2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻は、現在も続いており、いつになれば終わるのか全く予側がつきません。アメリカやヨーロッパ諸国ではロシアに対する経済制裁を行っています。経済制裁の影響はロシアだけではなく、経済制裁を行っている側にも影響が出ています。ロシアと直接輸出入している企業や間接的に取引をしている企業、輸入では調達品目の価格高騰によって、スーパーや飲食店などへの影響が出ています。

家計への影響は、両国とも穀物生産国であり、紛争によって輸出に支障が出ることで、世界的に小麦製品などの価格上昇が起こり、小麦を原料とするパンや麺類などの価格に影響が出ています。また、紛争によって、ロシア産の原油や天然ガスの輸出量が減少することになり、世界的に燃料価格に影響を与えています。燃料価格の上昇は、ガソリンスタンドやプロパンガスなど燃料の小売業に影響が出ており、車のガソリン価格やガス料金、電気料金の価格の引き上げにつながっています。先行きの不透明感が増す中、資源が乏しい工業立国の日本は、さらに影響を大きく受けることとなります。

西尾市の財政においても公共施設の電気代が大幅に増加していますし、原材料費の高騰により様々な影響が出ています。企業においては、自社への影響を細かく分析し、その影響を最小限にとどめられることを期待します。そして、燃料価格や穀物価格の高騰から家計を守るには、節約などの方法しかないといえるでしょう。

